



ミニディスクロージャー誌
平成21年3月期 営業の中間ご報告

京葉銀行のコミュニケーションシンボル



「 α 」の交点の立体的な重なりと上方へ鋭く伸びてゆくラインは、
人と人との交わりと、そこを出発点に無限に伸びてゆく未来をあらわしています。

コミュニケーションネームの「アルファバンク」は、
“人との交わりを大切に、無限の未来を切り開いてゆきたい”
“常に皆様にプラスアルファを提供し続ける銀行になりたい”
そんな京葉銀行の思いをあらわしています。

京葉銀行

〒260-0015 千葉市中央区富士見1-11-11
TEL. 043 (222) 2121
<http://www.keiyobank.co.jp>



京葉銀行

当行の概要 (平成20年9月30日現在)

設立	昭和18年3月31日
資本金	497億5,981万6,309円
本店	千葉市中央区富士見1丁目11番11号
有人店舗数 (うち出張所)	117カ店 (3カ所)
無人店舗数	142カ所
従業員	1,976名
総資産	3兆2,051億円
預金	2兆9,739億円
貸出金	2兆1,477億円
自己資本比率	単体 11.26% 連結 11.36%



目次

当行の概要	1
ごあいさつ	2
地域のベストバンクを目指して	3
当行の格付・役員	7
営業の概況	8
営業の推移	9
損益・自己資本比率の推移	10
不良債権(単体)について	11
単体財務諸表	13
連結財務諸表	15
株式	17
店舗ネットワーク	18



取締役頭取

小島信夫

ごあいさつ

いつも「アルファバンク」京葉銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

このたび皆様に、私どもに対するご理解を一層深めていただけるよう、「ミニディスクロージャー誌平成21年3月期 営業の中間ご報告」を作成いたしました。ご高覧いただければ幸いです。

平成20年度上期の金融経済情勢を振り返りますと、欧米金融機関の相次ぐ破綻による信用収縮、国内外の金融市場の混乱、原材料価格の高騰など、経済環境の急激な変化が企業業績や消費者物価に悪影響を与え、先行き懸念が一段と強まりました。

当行の経営基盤であります千葉県経済に関しても、建築コストの上昇などにより新設住宅着工戸数が伸び悩みを続けるほか、建設業を中心に企業倒産件数が増加を示すなど、原材料や生活必需品の相次ぐ価格上昇が、企業収益の悪化や個人消費の伸び悩みへと繋がり、景気の停滞感が増してきております。

このような環境の中、当行では、経営環境の変化に機敏に対応し強固な経営基盤を確立するため、第13次中期経営計画「 α ACTION PLAN 2009」を推進しております。仕上げの期となる平成20年度下期についても、銀行業務の基本である「預金と貸出を中心とした当行伝統の堅実経営」を貫くとともに、コンプライアンスの強化とリスク管理体制の確立を図ることにより、「お客様に信頼と利便性、高い満足度を提供する魅力のある、活力あふれる銀行」を目指してまいります。

これからも皆様からの厚い信頼を未来へと繋げていくために、地域社会にお役に立てる銀行として、役職員一同、全力を尽くしてまいりますので、なにとぞ一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年11月

お客様の安全性と利便性に配慮した店舗戦略

お客様の安全性と利便性に配慮した「5つのコンセプト」に基づく店舗づくりに取り組んでおります。

5つのコンセプト

1 「先進技術で、大きな安心」を提供する
「指静脈認証システム」を利用した全自動貸金庫



2 「より気持ちよく、より安心して」ご利用いただける
ATMコーナー



3 「気軽に、ゆっくり、ご相談」いただける、
個別ブースの相談コーナー



4 「どなたでも、どこでも、むりなく」ご来店いただける、
通路・トイレのバリアフリー対応



5 「ひろびろ、ゆったり、安心」な
店舗前面の駐車場



店舗新築移転・リニューアル

平成20年6月に江戸川台支店と鎌取支店、7月に北方支店をリニューアルし、8月に実籾支店を新築移転しました。



江戸川台支店外観



実籾支店外観

店舗新設

平成20年4月14日に流山おおたかの森支店を新設しました。



流山おおたかの森支店外観

今後について

平成20年12月1日に「柏の葉キャンパス支店」を出店する予定です。

また、平成20年度中に多古支店の新築移転を予定しています。



柏の葉キャンパス支店 完成予想図

貸金庫設備について

手の指の静脈パターンを高度に照合する「指静脈認証」は、偽造が困難なため、なりすましを防ぐなどセキュリティに優れています。さらに、センサーに指をかざすだけの簡単な操作で貸金庫が全自動で手元に届くので、**お席に座ったままご利用いただけます**。高いセキュリティと、スピーディな認証、簡単操作で、より安全に、より快適に、そしてより安心してご利用いただけます。

※ご本人以外にご親族の方がご利用になる場合は、代理人登録ができます。



指静脈認証システム全自動貸金庫のご利用時間

毎日 8:00～21:00 (入室は20:40迄)

元日を除き土・日・祝日もご利用いただけます。

上記ご利用時間内は何度でもご利用いただけます。

(全自動貸金庫を指静脈認証方式でご利用いただいている方に限ります)

指静脈認証システム全自動貸金庫のサイズ及びご利用料金

●ご利用料金 (1ヵ月当たり)	サイズ	規定料金	ポイントサービス	
			500P以上(25%割引)	1000P以上(35%割引)
	小 型	2,362円	1,771円	1,535円
	中 型	3,045円	2,283円	1,979円
	大 型	3,780円	2,835円	2,457円

●アルファバンクのポイントサービスでご利用料金が割引になります。
(500P以上で25%割引、1000P以上で35%割引)

※割引率は、「毎年2月末のお取引内容をもとに3月15日に確定するポイント数による4月1日のお引き落とし」及び「毎年8月末のお取引内容をもとに9月15日に確定するポイント数による10月1日のお引き落とし」に適用されます。

※アルファバンクのポイントサービスは個人のお客様向けのサービスです。
したがって、法人等のお客様は対象とはなりませんのでご注意ください。
詳しくは、ポイントサービスのパンフレットをご覧ください。

ポイントお取引例 (該当ポイント数に達するお取引例)

500
ポイント

- 定期預金500万円
- 給与振込+住宅ローン+定期預金400万円+貸金庫 など

1000
ポイント

- 定期預金1000万円
- 給与振込+住宅ローン+定期預金900万円+貸金庫 など

お申し込みの際の注意

○貸金庫の数量には限りがございます。○ご利用にあたっては、当行所定の基準がございます。なお、お申し込み当日にはご利用いただけませんのであらかじめご了承ください。○お届け印・ご本人確認のできる書類など、必要な書類がございます。○お申し込みは必ずご本人がご来店の際は、窓口でお手続きください。○ご利用料金は、ご指定の預金口座から半年ごとの自動支払いとなります。(前払い) ○上記ご利用料金には消費税が含まれています。

(平成20年9月30日現在)

ハンドセット付ATMの全店配備について

目の不自由な方向けに音声案内が流れるハンドセット付ATMを、柏コンサルティングプラザを除く全営業店に設置しています。



AEDの全店配備について

安心の店舗づくりへの取り組みとして、AED(自動体外式除細動器)の全店配備を進めています。

AED (Automated External Defibrillator)
心臓がけいれんし血液を送り出せない状態に陥った時に、電気ショックを与えて正常なリズムに戻すための医療機器です。



相続・事業承継への取り組みについて

事業承継や相続に関するお客様からの相談ニーズの高まりに対応するため、本部に専門スタッフからなる相談員を設置し、信託代理店として相続関連業務(資産承継プランニング、遺言信託、遺産整理業務)を取り扱っています。

県内各地で「相続と遺言」及び「事業承継」に関する講演会を開催しているほか、事業承継については、外部コンサルタント会社への紹介業務も行っています。

平成20年度上期から、支店の会議室等でミニセミナーを開催し、好評をいただいています。

●平成20年度上期開催の「相続と遺言」・「事業承継」に関する講演会

「相続と遺言」	千葉・船橋・柏 [各1回] 一般的な相続の知識から遺言書の有効性などを具体的な事例を交えてお話しています。
「事業承継」	千葉・柏 [各1回] 税務・財務面での対策のほか、事業承継の計画やM&A、また後継者育成の必要性などを具体的な事例を交えてお話しています。
「相続と遺言」ミニセミナー	県内営業店 [21回] 当行本部スタッフによる相続と遺言に関するセミナーを行っています。身近な支店での開催として、多くのご参加をいただいています。

格付け機関による当行の評価 (平成20年9月30日現在)

【株式会社 日本格付研究所】

AAA
AA+
AA
AA-
A+
A
A-
BBB+
BBB
BBB-
BB+
BB
BB-
B+
B
B-
CCC
CC
C
D

【スタンダード&プアーズ】

AAA
AA+
AA
AA-
A+
A
A-
BBB+
BBB
BBB-
BB+
BB
BB-
B+
B
B-
CCC+
CCC
CCC-
CC
C
R
SD-D

株式会社日本格付研究所（長期優先債務格付け）の格付けは「A+」です。

世界三大格付け会社のスタンダード&プアーズ（長期カウンターパーティ格付け）の格付けは「A-」です。

株式会社日本格付研究所（長期優先債務格付け）の格付けについては、ITの積極活用による利便性と安全性の向上や資本の更なる充実などが評価され、平成20年9月に「A」から「A+」へ格上げとなりました。

当行の役員 (平成20年9月30日現在)

取締役会長 (代表取締役)	綿 貫 弘 一
取締役頭取 (代表取締役)	小 島 信 夫
専務取締役 (代表取締役)	藤 坂 政 美
常務取締役	磯 洋 一
常務取締役	渡 部 茂 樹
常務取締役	福 田 紀 夫
取締役	矢 部 繁 光
取締役	佐久間 武 彦
取締役	上 村 進

取締役	相 原 薫
取締役	鶴 岡 茂 樹
取締役	露 崎 忠 夫
取締役	石 原 康 有
取締役	飯 高 弘史郎
取締役	山 下 禎 三
常勤監査役	三 股 幸 雄
常勤監査役	森 謙 二
監査役	勝 又 基 夫
監査役	小 野 功
監査役	磯 貝 正 尚

※監査役のうち、勝又基夫、小野 功及び磯貝正尚の3氏は、社外監査役です。

当中間期の当行の業況

預 金

預金は、千葉県北西部への新規出店や積極的な店舗リニューアル、先進的なATM・貸金庫サービスがお客様よりご支持をいただいております。当中間期末残高は前期末比917億円増加し2兆9,739億円となりました。

貸 出 金

貸出金は、新規法人開拓をはじめとした事業性貸出を積極的に推進し、同時に住宅ローンの推進に取り組んだ結果、当中間期末残高は前期末比548億円増加し2兆1,477億円となりました。

有 価 証 券

有価証券は、預金残高の高水準な伸びを受け、市場動向に対応した堅実な運用に取り組み、当中間期末残高は前期末比419億円増加し8,662億円となりました。

店 舗

平成20年度上期につきましては、4月に流山おおたかの森支店を新設、6月に江戸川台支店と鎌取支店、7月に北方支店をリニューアル、さらに8月には実籾支店を移転新築しました。今後も「つくばエクスプレス」沿線の柏の葉キャンパス駅前などに新店を出店していく予定です。

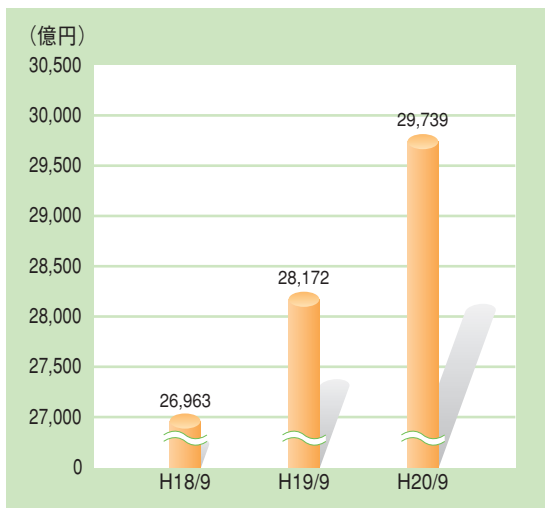
当中間期配当及び自己株式取得について

当行では、銀行業としての公共性に鑑み、お客様や地域社会への信頼にお応えするために、健全経営と内部留保の充実に努めますとともに、ステークホルダーへの適切な配分を行うことを基本方針としています。中間配当金につきましては、収益状況及び今後の事業展開などを総合的に勘案し、前期と同様に1株当たり4円とさせていただきます。

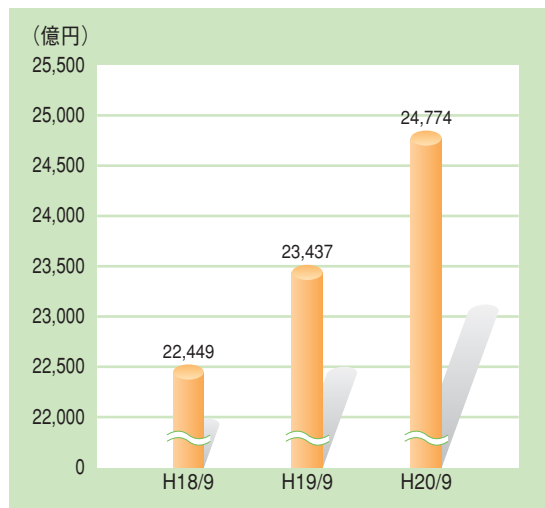
また、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を図るとともに、資本効率の向上を通じて株主の皆様への利益還元を図るべく、平成20年9月19日の取締役会で自己株式を取得することを決議しました。発行済株式総数の3.4%にあたる1千万株、取得価額50億円をそれぞれ上限とし、平成20年10月1日から平成21年3月13日までの期間で実施するものです。

なお、内部留保資金につきましては、積極的な店舗投資やIT投資を継続して行い、お客様へのサービス向上を図るとともに、経営基盤の拡充や経営体質の強化のため有効に活用していきたいと考えています。

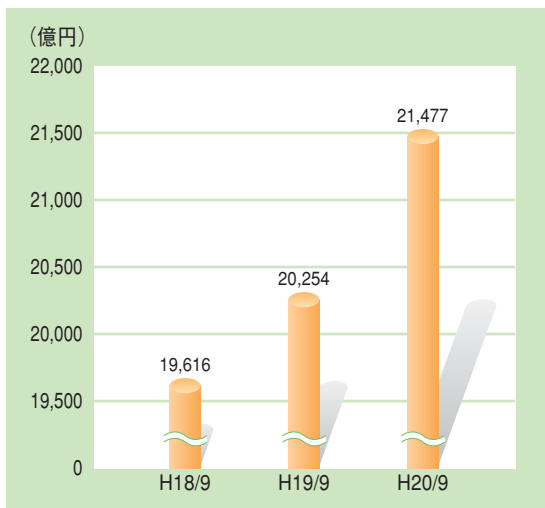
■預金残高の推移



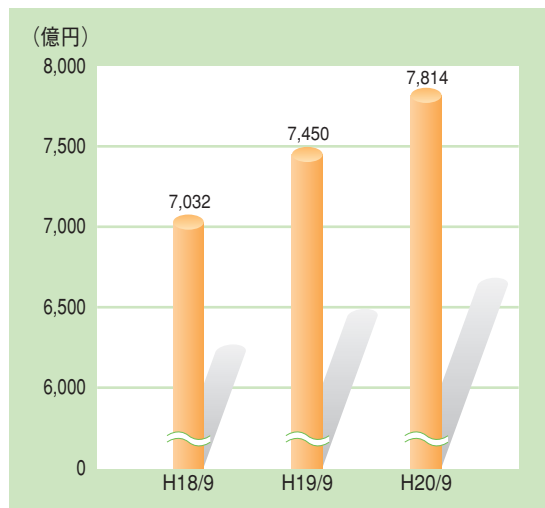
■個人預金の推移



■貸出金残高の推移



■個人ローンの推移



損益

経常収益は、貸出金利息や有価証券利息配当金等の資金運用収益が前年同期より増加したものの、証券市場の低迷により投資信託販売等の役務取引等収益が大きく減少したため、前年同期比3億67百万円減少し370億80百万円となりました。経常費用は、経済情勢が厳しさを増す中、与信先に対する自己査定を保守的に行い、予防的な貸倒費用を計上することとしたため、前年同期比60億50百万円増加し307億61百万円となりました。

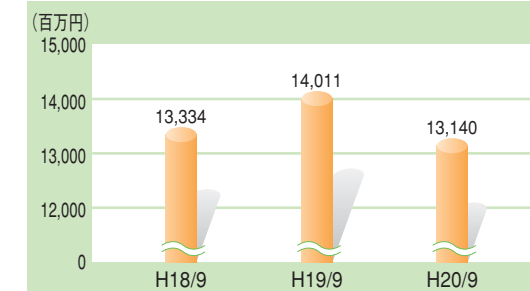
この結果、経常利益は64億18百万円減少し63億18百万円、中間純利益は36億20百万円減少し35億58百万円となりました。

自己資本比率(国内基準)《単体》

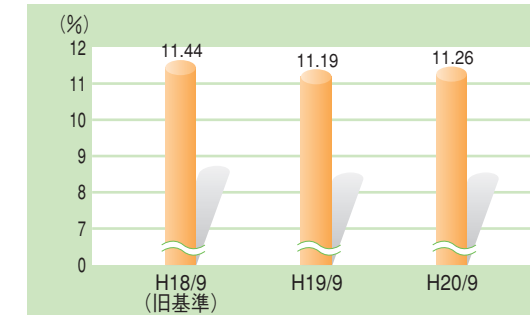
国内基準による単体自己資本比率は、11.26%と対前期比0.01%の上昇となりました。

うち資本金、資本剰余金、利益剰余金などの基本的項目(Tier I)は10.36%と高い水準を維持しています。

コア業務純益の推移



自己資本比率の推移(国内基準)



(単位：百万円)

	平成20年9月末			平成20年3月末	平成19年9月末
	平成20年9月末	平成20年3月末比	平成19年9月末比		
自己資本比率 ①/②×100	11.26%	0.01%	0.07%	11.25%	11.19%
Tier I ①	160,872	2,364	8,137	158,507	152,734
Tier II ②	14,061	909	△628	13,151	14,690
うち自己資本に計上された 土地再評価差額金	5,283	△49	△64	5,332	5,348
うち劣後ローン残高	—	—	—	—	—
控除項目 ③ (他の金融機関の資本調達手段の 意図的な保有相当額)	101	—	—	101	101
自己資本 ①+②-③	174,832	3,274	7,509	171,557	167,323
リスク・アセット ②	1,552,315	27,687	57,462	1,524,627	1,494,852

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

リスク管理債権及び保全

当行では、銀行法に基づき「破綻先債権」「延滞債権」「3ヵ月以上延滞債権」「貸出条件緩和債権」をリスク管理債権として開示しています。

(単位：百万円)

	平成20年9月末		平成19年9月末
	平成19年9月末比		
破綻先債権	5,611	1,275	4,335
延滞債権	34,018	4,691	29,326
3ヵ月以上延滞債権	157	△73	230
貸出条件緩和債権	26,356	△3,838	30,194
合 計	66,142	2,054	64,087
上記債権額に係る個別貸倒引当金残高	6,736	759	5,977
上記債権額に係る担保等保全額	35,529	4,805	30,724
上記債権額に係る一般貸倒引当金残高	3,163	△2,401	5,565
合 計	45,429	3,162	42,267
保全率 (%)	68.68	2.73	65.95

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

金融再生法開示債権及び保全

当行では、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律」(以下、金融再生法)に基づき、対象となる資産を債務者の財政状態及び経営成績などをもとに区分する資産査定を行っています。

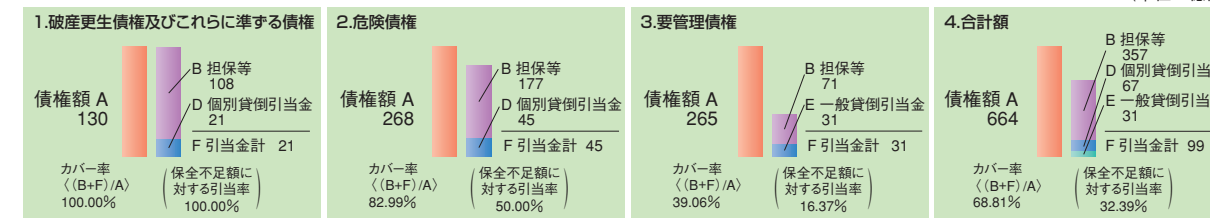
「金融再生法基準」では、貸出金のほか、貸付有価証券、外国為替、支払承諾見返、未収利息、仮払金、自らの保証を付した私募債などが対象範囲となっています。

(単位：百万円)

債務者区分	債権額 A	左記に対する保全・引当金					F/C に対する引当率 (%)	カバー率 (B+F)/A (%)
		担保等 B	保全不足額 (A-B) C	個別貸倒 引当金 D	一般貸倒 引当金 E	引当金計 (D+E) F		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	13,068	10,871	2,197	2,197	—	2,197	100.00	100.00
危険債権	26,869	17,732	9,136	4,568	—	4,568	50.00	82.99
要管理債権	26,513	7,194	19,318	—	3,163	3,163	16.37	39.06
(うち3ヵ月以上延滞債権)	157	68	88	—	19	19	21.94	56.21
(うち条件緩和債権)	26,356	7,125	19,230	—	3,144	3,144	16.34	38.96
合 計	66,450	35,798	30,652	6,765	3,163	9,929	32.39	68.81

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

正常債権	2,107,819
総与信残高	2,174,270



用語解説

●破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産、会社更生などの理由で経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権のことです。

●危険債権

経営破綻の状況には至っていませんが、財政状態などが悪化し、元本の回収及び利息の受取ができない可能性の高い貸出金などをいいます。しかし、全ての債権が回収不能となるわけではありません。

●要管理債権

利息の支払などが3ヵ月以上遅れている貸出金や、経営不振先の再建を図るために、返済の条件を緩やかにした貸出金などをいいます。管理に注意を要するものであり、全ての債権が回収不能となるわけではありません。

●正常債権

債務者の財政状態などに特段の問題がないものとして、上記のもの以外に区分される債権をいいます。

●総与信残高

貸出金・貸付有価証券・外国為替・支払承諾見返・未収利息・仮払金・自らの保証を付した私募債などの合計額です。

第103期 (平成20年9月30日現在) 中間貸借対照表

(単位：百万円)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
現金預け金	42,142	預渡性預金	2,973,926
コールローン	59,872	借入金	7,797
商品有価証券	1,305	外国為替	6
有価証券	866,277	その他負債	111
貸出金	2,147,792	賞与引当金	13,367
外国為替	1,657	役員賞与引当金	1,260
その他資産	11,271	退職給付引当金	40
有形固定資産	50,356	退職給付引当金	13,031
無形固定資産	285	役員退職慰労引当金	447
繰延税金資産	20,235	睡眠預金払戻損失引当金	223
支払承諾見返	19,540	偶発損失引当金	103
貸倒引当金	△15,581	再評価に係る繰延税金負債	6,453
		支払承諾	19,540
		負債の部合計	3,036,309
		純資産の部	
		資本金	49,759
		資本剰余金	39,724
		資本準備金	39,704
		その他資本剰余金	19
		利益剰余金	73,193
		利益準備金	10,055
		その他利益剰余金	63,138
		別途積立金	57,720
		繰越利益剰余金	5,418
		自己株式	△646
		株主資本合計	162,030
		その他有価証券評価差額金	1,528
		土地再評価差額金	5,288
		評価・換算差額等合計	6,817
		純資産の部合計	168,848
資産の部合計	3,205,157	負債及び純資産の部合計	3,205,157

第103期 (平成20年4月1日から平成20年9月30日まで) 中間損益計算書、中間株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

科目	金額
経常収益	37,080
資金運用収益	32,095
(うち貸出金利息)	(25,104)
(うち有価証券利息配当金)	(6,601)
役員取引等収益	4,344
その他業務収益	359
その他経常収益	280
経常費用	30,761
資金調達費用	4,202
(うち預金利息)	(4,169)
役員取引等費用	2,034
その他業務費用	12
営業経費用	17,666
その他経費用	6,846
経常特別利益	6,318
特別損失	1
税引前中間純利益	298
法人税、住民税及び事業税	6,020
法人税等調整額	5,849
法人税等合計	△3,387
中間純利益	2,462
	3,558

(注記)

- 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。
- 貸出金のうち、破綻先債権額5,611百万円、延滞債権額34,018百万円、3ヵ月以上延滞債権額157百万円、貸出条件緩和債権額26,356百万円、合計額66,142百万円
- 銀行法施行規則第19条の2第1項第3号ロ(10)に規定する単体自己資本比率(国内基準)11.26%
- 担保に供している資産として、有価証券等合計額1,381百万円
- 1株当たり純資産額 582円96銭
- 1株当たり中間純利益 12円28銭

(単位：百万円)

	株主資本							評価・換算差額等				純資産合計		
	資本金	資本剰余金			利益準備金	その他利益剰余金		自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金		評価・換算差額等合計	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計		別途積立金	繰越利益剰余金							利益剰余金合計
平成20年3月31日残高	49,759	39,704	8	39,713	10,055	46,220	14,454	70,729	△536	159,666	9,629	5,353	14,983	174,649
中間会計期間中の変動額														
剰余金の配当	-	-	-	-	-	-	△1,159	△1,159	-	△1,159	-	-	-	△1,159
別途積立金の積立	-	-	-	-	-	11,500	△11,500	-	-	-	-	-	-	-
中間純利益	-	-	-	-	-	-	3,558	3,558	-	3,558	-	-	-	3,558
自己株式の取得	-	-	-	-	-	-	-	△165	△165	-	-	-	-	△165
自己株式の処分	-	-	10	10	-	-	-	-	55	65	-	-	-	65
土地再評価差額金取崩額	-	-	-	-	-	-	64	64	-	64	-	-	-	64
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△8,100	△64	△8,165	△8,165	△8,165
中間会計期間中の変動額合計	-	-	10	10	-	11,500	△9,035	2,464	△110	2,364	△8,100	△64	△8,165	△5,801
平成20年9月30日残高	49,759	39,704	19	39,724	10,055	57,720	5,418	73,193	△646	162,030	1,528	5,288	6,817	168,848

中間連結貸借対照表 (平成20年9月30日現在)

(単位：百万円)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
現金預け金	42,335	預金	2,973,359
コールローン及び買入手形	59,872	譲渡性預金	6,900
商品有価証券	1,305	借入金	6
有価証券	867,298	外国為替	111
貸出金	2,147,380	その他負債	15,890
外国為替	1,657	賞与引当金	1,271
その他資産	13,736	役員賞与引当金	40
有形固定資産	50,374	退職給付引当金	13,179
無形固定資産	290	役員退職慰労引当金	459
繰延税金資産	20,464	利息返還損失引当金	46
支払承諾見返	19,540	睡眠預金払戻損失引当金	223
貸倒引当金	△16,027	偶発損失引当金	103
		再評価に係る繰延税金負債	6,453
		支払承諾	19,540
		負債の部合計	3,037,584
		純資産の部	
		資本金	49,759
		資本剰余金	39,735
		利益剰余金	74,007
		自己株式	△667
		株主資本合計	162,834
		その他有価証券評価差額金	1,530
		土地再評価差額金	5,228
		評価・換算差額等合計	6,819
		少数株主持分	990
		純資産の部合計	170,644
資産の部合計	3,208,229	負債及び純資産の部合計	3,208,229

中間連結損益計算書、中間連結株主資本等変動計算書 (平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)

(単位：百万円)

科目	金額
経常収益	37,573
資金運用収益	32,236
(うち貸出金利息)	(25,242)
(うち有価証券利息配当金)	(6,605)
役員取引等収益	4,522
その他業務収益	539
その他経常収益	274
経常費用	31,219
資金調達費用	4,200
(うち預金利息)	(4,168)
役員取引等費用	2,023
その他業務費用	440
営業経費	17,423
その他経常費用	7,131
経常特別利益	6,353
特別損失	8
税金等調整前中間純利益	298
法人税、住民税及び事業税	6,063
法人税等調整額	5,931
法人税等合計	△3,423
少数株主利益	2,508
中間純利益	△20
	3,576

(注記)

- 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。
- 貸出金のうち、破綻先債権額5,628百万円、延滞債権額34,287百万円、3ヵ月以上延滞債権額239百万円、貸出条件緩和債権額26,356百万円、合計額66,511百万円
- 銀行法施行規則第17条の5第1項第3号ロに規定する連結自己資本比率(国内基準)11.36%
- 担保に供している資産として、有価証券等合計額1,381百万円
- 1株当たり純資産額 585円88銭
- 1株当たり中間純利益 12円34銭

(単位：百万円)

	株主資本				評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金			評価・換算差額等合計
平成20年3月31日残高	49,759	39,725	71,521	△557	160,449	9,631	5,353	14,985	1,014	176,448
中間連結会計期間中の変動額										
剰余金の配当	-	-	△1,155	-	△1,155	-	-	-	-	△1,155
中間純利益	-	-	3,576	-	3,576	-	-	-	-	3,576
自己株式の取得	-	-	-	△165	△165	-	-	-	-	△165
自己株式の処分	-	10	-	55	65	-	-	-	-	65
土地再評価差額金の取崩額	-	-	64	-	64	-	-	-	-	64
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)	-	-	-	-	-	△8,100	△64	△8,165	△24	△8,190
中間連結会計期間中の変動額合計	-	10	2,485	△110	2,385	△8,100	△64	△8,165	△24	△5,804
平成20年9月30日残高	49,759	39,735	74,007	△667	162,834	1,530	5,288	6,819	990	170,644

株式の状況 (平成20年9月30日現在)

株式数

発行可能株式総数790,029,000株
 発行済株式の総数290,855,716株
 株主数16,465名

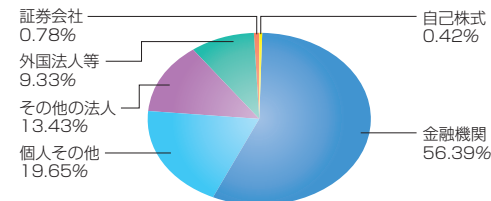
大株主 (平成20年9月30日現在)

氏名または名称	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	20,088	6.93
株式会社三菱東京UFJ銀行	13,259	4.57
日本興亜損害保険株式会社	12,619	4.35
株式会社千葉銀行	12,213	4.21
三井住友海上火災保険株式会社	10,018	3.45
朝日生命保険相互会社	8,054	2.78
京葉銀行職員持株会	7,637	2.63
住友生命保険相互会社	7,122	2.45
株式会社みずほコーポレート銀行	6,877	2.37
株式会社栃木銀行	6,771	2.33

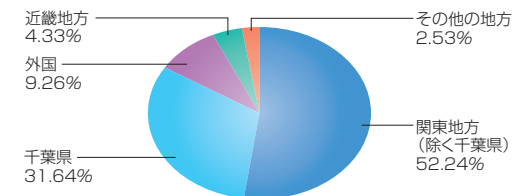
(注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しています。
 2. 持株比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
 3. 持株比率は自己株式(1,218,840株)を控除して計算しています。

株式の分布状況 (平成20年9月30日現在)

所有者別株式分布



地域別株式分布



株主優待定期預金

日頃のご愛顧に感謝し、株主優待定期預金をお取扱いします。

取扱期間 平成20年12月1日(月)～平成21年1月30日(金)
 (平成20年度第2回)
 対象者 平成20年9月30日現在で当行株式1,000株以上ご所有の株主様ご本人
 適用金利 店頭表示金利+0.5%
 預金種類 スーパー定期(期間1ヵ月以上1年以内)
 預入限度額 10万円以上100万円まで(分割預入はできません)
 取扱店舗 当行本支店及び出張所(成田空港出張所、成田空港第二出張所、成田空港サテライト出張所を除きます)
 その他 該当される株主様には、お取扱い詳細を郵送にて直接お知らせします。

株式のご案内

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 6月
 定時株主総会の基準日 3月31日
 剰余金の配当基準日 期末配当 3月31日
 中間配当 9月30日
 単元株式数 1,000株
 公告方法 日本経済新聞に掲載します。
 株主名簿管理人 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号
 事務取扱場所 日本証券代行株式会社 本店
 〒137-8650
 東京都江東区塩浜二丁目8番18号
 日本証券代行株式会社 代理人部
 (住所変更等用紙のご請求) ☎0120-707-842
 (その他のご照会) ☎0120-707-843
 株式お手続き用紙のご請求をインターネットでもお受けしています。
 ホームページアドレス
<http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>
 (一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます)
 同取次所 日本証券代行株式会社 各支店

